

## 基幹博物館整備事業の基本設計（案）に対するパブリックコメントの状況

## 1 募集期間

平成30年7月25日（水）から8月28日（火）まで

## 2 閲覧方法

- (1) 市ホームページ
- (2) 松本まると博物館ホームページ
- (3) 窓口（松本市立博物館及び各分館、行政情報コーナー、各地区地域づくりセンター、信州大学、松本大学）

## 3 実施結果

## (1) 提出件数

97件（24人）

## (2) 提出方法

区 分	件 数	人 数
窓 口	49件	13人
ファクシミリ	27件	7人
電子メール	21件	4人
合 計	97件	24人

## (3) 意見等の区分

区 分	件 数
反 映 す る 意 見	12件
趣 旨 同 一 の 意 見	21件
参 考 と す る 意 見	45件
対 応 が 困 難 な 意 見	12件
質 問 の み	6件
そ の 他	1件
合 計	97件

(4) 意見等の概要及び市の考え方

No.	該当頁	意見等の概要	市の考え方
1	P1	新博物館の建設面積、延床面積等は、博物館建設検討委員会が視察した三重県総合博物館の施設を一回り小さくしただけの博物館である。県立と市立の違いがあるのに、ほぼ同規模の施設を整備する理由はどこにあるのか。	<p>【質問のみ】</p> <p>「松本まるごと博物館構想」の中核施設としての機能や、運営・活動に必要な施設規模と考えています。また、中心市街地の活性化を図るため、交流・情報交換や観光・集客機能を併せ持った施設としています。</p>
2	P1	「松本学」とは何か。どこで定義されたものなのか。市民に共有された概念となっているのか。	<p>【質問のみ】</p> <p>「松本学」は、平成21年3月策定の「松本市基幹博物館基本計画」において、「松本市域で培われた〈人〉〈歴史・文化〉〈自然〉の切り口で、地域社会の移り変わりや人の生き方を総合的に学び、松本の未来を創造する学」と定義されています。これからも博物館活動を通じて、広く市民に認知していただけるよう努力します。</p>
3	P1	新博物館のコンセプト「「松本学」を探求し、「松本の未来」を創造する博物館」に『松本の大地のおいたち』も加えてほしい。	<p>【趣旨同一の意見】</p> <p>「松本学」は、「松本市域で培われた〈人〉〈歴史・文化〉〈自然〉の切り口で、地域社会の移り変わりや人の生き方を総合的に学び、松本の未来を創造する学」と定義されており、御意見の趣旨も含んでいると考えています。</p>
4	P1	太陽光について、3階建ての屋根に太陽光パネルを置く場合、周辺の高い建物などへの光の反射や反射熱の影響はないか。	<p>【参考とする意見】</p> <p>太陽光発電パネルの設置については、事前にシミュレーションを行い、近隣の住環境や周囲の道路空間への影響が生じないように検討します。</p>
5	P1	複合扇状地という地形上、地下構造も大変な工事だと思うが、地中熱利用の可能性はあるのか。	<p>【質問のみ】</p> <p>地中熱の利用については、空調設備に地下水を利用した方策を検討しています。</p>
6	P1	吹き抜け部分が全面ガラス張りになっており、意匠上の見栄えは良いが、維持管理上、清掃、空調の効き	<p>【対応が困難な意見】</p> <p>大名町通り側の外観は、千歳橋からの人の注意を引くための建物とし</p>

		の悪さから、ガラス面の縮小を検討されたい。	て相応しいデザインを目指したものです。また、建物全体のボリュームから考えると、ガラスの設置面積は適当と考えています。御指摘の維持管理上の諸課題については、ガラスの仕様や空調方式等の比較検討を行うなど、ランニングコストの低減に努めます。
7	P1	吹き抜け部の全面ガラスには、電動ロールスクリーンの設置が想定されるが、工事費の増額、スクリーン劣化時の更新費用が多額となる。また、運営後は閉めっぱなしになる可能性が高いのではないかと。	【参考とする意見】 ロールスクリーンの設置については、仕様の比較検討を行い、導入コストやランニングコストの低減に努めます。また、設計段階で日照条件等を調査し、まちとの繋がりを演出する吹き抜け空間の効用を阻害しないよう運用方法を検討します。
8	P1	松本らしい内装又は外観の案として、山辺石を室内外の壁のアクセントに使用してはいかがか。わざわざ採石場から切り出さなくとも、軒下に放置されたものもあるので、石の寄付を呼び掛けてはいかがか。	【参考とする意見】 松本市内で産出する石材等の建築資材の収集や活用方法については、実施設計の中で検討します。
9	P1	多様な市民が関わる博物館の案として、館内の椅子の座面の布を授産施設に製作を注文し、使用してはいかがか。製作者の張り合いになると考える。	【参考とする意見】 より多くの市民が、整備を通じて博物館に興味を持ってもらうきっかけとなるよう、今後の市民参加についても、事業の進捗に合わせ検討します。
10	P1	設計案はコンクリートの大きな塊りだけで緑がほとんどない。ヒートアイランドが進み、周辺環境が悪化するだけではないかと。	【参考とする意見】 平成28年3月策定の「松本市緑のデザインマニュアル」に示された緑化割合や植栽基準に基づきながら、敷地内の緑化に努めます。
11	P1	松本市美術館は、建物と草間彌生氏の「幻の華」がセットになっている。博物館も建物に息を吹き込むようなアイコンがあると良い。芸術作品ではなくとも、何か写真を撮りたくなる、皆が集まってきたくなるようなものがあると良い。	【参考とする意見】 1階フロアに当館を象徴し、アイキャッチとなるような展示や仕掛けを検討しています。具体的な内容については、実施設計の中で検討します。

12	P9	この博物館で一番目玉にしたいものが分からない。シンボルみたいなものがあると良い。	同上
13	P9	博物館に来た記念として写真を撮れるような場所があると良い。	同上
14	P1	博物館単独でなく、取り巻く町全体の「まちづくり」要素の一つとして計画し、人の通行量が増える、商業・観光が活性化されるような視点で整備されたい。	【趣旨同一の意見】 1階フロアを街とつながるオープンなつくりとし、来館者が気軽に立ち寄れるスペースや街歩きの拠点となる機能を備えることで、商業・観光の活性化を図ります。
15	P3	子どもからご高齢の方までが幅広く楽しめ、使用できる空間を広くつくっていただきたい。	【趣旨同一の意見】 設計案にあるとおり、2階、3階のロビーを始め、仕切りを極力なくした1階の各部屋など、開放的で広がりを感じられる空間を随所に設けています。この空間は、様々な年齢層の方の利用を前提として設計しています。
16	P3	子どもが真剣に遊べば、子どもたちが集まり、親が集う。たくさんの人（子ども）がまた来たいと思える施設をお願いしたい。	【趣旨同一の意見】 全国の総合博物館としては数少ない「子ども向け展示室」を設けています。テーマごとに複数種のアイテムを設けるなど、子どもたちが、繰り返し利用しながら、遊び、学べる場所となるよう検討します。
17	P11	子ども向け展示の中に、ゲームなど多様な体験コーナーがあり、親子で楽しめて良いと思う。	同上
18	P3	パノラミックラウンジの出窓は、直下の家の中が見えないよう配慮していただきたい。	【反映する意見】 近隣住民のプライバシーを考慮して実施設計を進めます。
19	P3	2階に特別展示と常設展示を集め、3階を収蔵庫とパノラミックラウンジにしてはどうか。	【対応が困難な意見】 各部屋の配置については様々な検討をしましたが、横長の敷地形状や高さ制限により建築物の制約があること、また、各部屋の必要面積、収蔵資料の搬入動線及び展示室の出入口などを十分に勘案した上で現在の配置としたものですので御理解くだ

			さい。
20	P3	特別展示室の出入口が同一なので、人気のある企画展を実施した場合、動線が重なり混乱する。常設展示のように、動線を分けられるようにすべきと考える。	【参考とする意見】 御指摘のとおり、出入口を分離することが望ましいと考えますが、隣接するスペースとの調整が必要となるため、実施設計の中で検討します。
21	P3	図書室の充実を希望する。書籍だけでなく写真集などもあると良い。	【参考とする意見】 図書・情報室では、博物館や松本に関するものを書籍のほか写真集等も含めて配架する予定です。具体的な内容については今後検討します。
22	P3	まち歩きをしている人たちが一休みできるスペースをぜひ設けていただきたい。	【趣旨同一の意見】 1階フロアは、街とつながるオープンなつくりとすることで、来館者が気軽に立ち寄りやすい環境を整えています。また、市民交流スペースやドリンクコーナーなど、誰でも自由に利用できる場所を確保することで、ゆっくり休憩していただくことが可能となっています。
23	P3	お金を払ってまで博物館に入りたくない人でも、気軽に休めるようなスペースがあれば寄ってくれるのではないかと。	同上
24	P3	1階に市民交流スペースや学習室があることで、気軽に立寄れるような博物館になっていると思う。	同上
25	P3	館の外から見たときに、すぐにチケット売り場が目に入ると、もともと博物館に入館する意思のある人以外が入りにくい。チケット売場の場所を展示室に近い奥のほうにすべきではないかと。	【対応が困難な意見】 チケット売場のほか、総合案内、ドリンクコーナー及びミュージアムショップカウンターを一カ所にまとめて、この場所に配置しています。これは、管理・運営に係るコストの低減が図れること、また、階段又はエレベーター口の前に位置することで、展示室への誘導が容易になることを考慮したものです。
26	P3	1階部分が「市民の交流と活動のためのオープンな空間」と位置付けられ、市民交流スペース、講堂、交	【質問のみ】 博物館法第2条第1項では、博物館は「教養、調査研究、レクリエー

		流学習室が配置されているが、これらはなぜ必要なのか。同じ丸の内の中に新市役所が建設され、上記と同様の設備が建設された場合、「市民のためのスペースだらけの公共施設」が乱立する。	ション等に資するために必要な事業を行う」と規定されています。今回、配置した各部屋については、博物館本来の活動を行うために必要と考えています。
27	P3	1階がMウィングのようなスペースとなっているが、これで博物館本来の機能が果たせるのか。市民意見を取り入れて基本設計に至ったと聞くが、流行やポピュリズムに流されること無く、アカデミックな基本姿勢をきちんと守っていただきたい。	同上
28	P3	市民や観光客が講堂や交流学習室に立ち寄りやすくするためには、中央部分ではなく大名町通り側にすべきではないか。	【対応が困難な意見】 立ち寄りやすい施設とすることは重要なことと認識していますが、建物への出入口をはじめ、階段やエレベーターの位置、災害時の避難誘導等を十分に検討した上で現在の配置としたものですので、講堂等を大名町通り側に配置することは困難と考えています。
29	P3	若い客層に来てもらうには、「インスタ映え」が必要ではないか。博物館限定のオシャレなカフェや、展示では写真が撮れると良い。	【参考とする意見】 現時点で、ドリンクコーナー以上のレストランやカフェの設置は予定していません。展示空間内での写真撮影については、撮影可能なエリアを設けるなど、実施設計の中で検討します。
30	P3	トイレの入口が扉付きになっているが、清掃・管理上不便が生じる。不特定多数の人が利用する施設ではドアレスが基本だと考えるので、再考されたい。	【反映する意見】 ご指摘のとおり、来館者の利便性や安全性を考慮し、ドアレスに見直す方向で検討します。
31	P3	2階、3階のトイレが少なく分かりにくいのではないかと。特に3階トイレは展示室の出口に近く、ロビーからも行きにくいのではないかと。	【参考とする意見】 各部屋の必要面積を考慮し、建物全体の中でトイレの設置場所と数を検討しています。3階のトイレについては奥まった位置になるため、分かりやすい案内表示を検討します。

32	P3	来館者の多くが利用するであろう東入口から入ると、トイレ前に段差があり、車椅子、ベビーカー、歩行補助器を利用する人たちがスロープを使うことになる。バリアフリー法に基づく斜路とは思いますが、新設の建物であるので、床面レベルを再考されたい。	【対応が困難な意見】 敷地東西での高低差が2m弱あるため、建物の床面レベルを一定にすることは難しいと考えています。しかしながら、ユニバーサルデザインの考えの下、アクセス環境が少しでも改善できるよう実施設計の中で検討します。
33	P3	子ども向け展示室前のトイレにも多目的トイレの設置を検討されたい。おむつ交換や、親と一緒にトイレに入る必要性の他、障がいのある子どもたちも安心して子ども向け展示室を利用してもらえるようにしていただきたい。	【反映する意見】 子ども向け展示室前のトイレにも、多目的トイレを設置する方向で検討します。
34	P3	授乳室やオムツ替えシートなどは、いまだに女性トイレなどが主体になっており、市内でもオムツ替えなどのきちんとした場所はほとんど無く、あっても男性が入室禁止の場合もある。男性の目線に立って子育てに関するスペースを整備する必要があると考える。	【反映する意見】 男性トイレ内にもオムツ替えシートを設置したり、授乳室内を区分けして授乳スペースと調乳スペースを設けるなど、男性の利用も考慮したスペースとなるよう検討します。
35	P3	授乳室が管理者から見えない位置にあり、防犯上あまり適切でない位置と感じる。運用方法によって変わると思うが、中から施錠できるようにする場合、どのような利用をされるか分からなくなってしまう。設置場所の再考を求める。	【参考とする意見】 授乳室については、大幅な配置の変更はできませんが、授乳スペースでの鍵付き個室の採用や緊急呼出装置の設置など、防犯上の観点から検討を重ねます。
36	P3	女性専用の授乳スペースは、安心して使える施錠できる個室で、空調がきちんと行き届いているように配慮されたい。	【反映する意見】 授乳室内を、男女共に利用できる調乳スペースと、女性専用の授乳スペースに分けて設計を進めます。授乳スペースは鍵付き個室を採用し、空調についても中央制御の全館空調を採用します。
37	P3	クラフトのまちと紐付け、年中日替わりで色々なクラフト作家のワークショップがあると良い。みすず細	【参考とする意見】 松本市には、みすず細工などの手仕事の伝統が受け継がれており、そ

		工や松本箒、松本張り子など、大切に伝えていきたいものが、受け継がれていってほしい。	れが今もクラフトなどの形で息付いています。こうしたことを各種ワークショップ等の開催により発信していきたいと考えています。
38	P3	子育てに関する市の相談施設なども併設できれば良い。	【参考とする意見】 新たな公共施設の併設は予定していませんが、行政の出張スペースとしての活用など、今後の管理・運営方針の中で検討します。
39	P3	駐輪場が北西隅にあるため、東側から自転車で訪れた人にとって気付きにくい。現状の交通状況を参考に、東側にも駐輪スペースを設けることを含めて検討されたい。	【対応が困難な意見】 大名町通りに面した建物東側のスペースは、既存の「大名町大手門井戸」や「シナノキ等の街路樹」を配置し、街歩きする人々の滞留スペースとすることを検討していますので、駐輪場を設けることは難しいと考えます。なお、駐輪場への誘導については、分かりやすい案内表示を検討します。
40	P3	大名町通り側に駐輪場を作っていたらいい。来館者の多くは大名町通りを利用することが予想されるので、(西側の駐輪場だと)不便で分かりにくい。自転車にやさしいまちづくりをしていただきたい。	同上
41	P3	松本にはビーナスラインもあり、ライダーの来訪者が多数いるので、駐輪場に大型バイクが止められるバイクスペースの設置を検討されたい。	【対応が困難な意見】 駐輪場へのバイクスペース設置は予定していません。現在、西側に位置する「市営松本城大手門駐車場平面式駐車場」をご利用ください。
42	P4	収蔵庫環境に対する言及があるが、そのような環境で保存しなければならない歴史的価値が非常に高い収蔵品はどのくらいあるのか。市民へきちんと説明した上で、価値がさほど無い収蔵品は、郊外の支所倉庫などで保管すべきと考える。	【参考とする意見】 現時点で、収蔵庫がいっぱいになるほどの歴史的価値が高い資料を保有している訳ではありませんが、今後何十年と市民の宝を守るため、将来的な資料収蔵スペースの確保は必要と考えています。既存の資料については、歴史的価値も含めしっかり精査し、必要なものだけを基幹博物館に保管します。また、その他の資



			料についても、博物館分館を含めた既存施設で大切に保管します。
43	P4	今後の地球上の気候変動や突然の災害などに対し、守り続けてきた宝物を失うことが最小限にとどめられるよう、収蔵庫については念には念を入れてほしい。	【趣旨同一の意見】 収蔵庫は博物館機能の最も根幹となる部分ですので、地震を始めとする各種災害への備えを万全に設計しています。
44	P4	松本のイメージとして「水—湧水」は大切に活用はしてほしいが、景観水路として巡らせる場合、悪臭等が生じないように、流水路にしていきたい。	【参考とする意見】 建物の東西に設置予定の水景のあるポケットパークについては、水質及び周辺環境を十分に調査し、悪臭等が生じないように流水路も含め検討します。
45	P4	地面からの光の反射によるまぶしさやヒートアイランド現象の低減・解消の視点から、南側の樹木や低木、草花などを少しでも増やし落ち着いた景観が保てるよう、建物の南壁面の長さや色の観点以外でも工夫されたい。	【参考とする意見】 敷地内の植栽については「松本市緑のデザインマニュアル」に示された緑化割合や植栽基準に考慮しながら、敷地内の緑化に努めます。また、南側壁面についても、地域に調和し、圧迫感のない意匠となるよう検討を重ねます。
46	P4	大名町通り沿いの北側にある塀が高すぎ、圧迫感を感じる。冬は日陰となり雪も融けず寒くなる。	【参考とする意見】 大名町通りに配慮した街路景観とするため袖壁の設置を検討していますが、周辺環境への影響を考慮し、高さについては実施設計の中で検討します。
47	P6	「マツもっと展示」というダジャレのような感性に違和感がある。	【参考とする意見】 展示を通して松本をもっと知ってもらいたいという気持ちや、展示に対する親しみやすさを醸成する狙いで名称を考えたものです。最終的なネーミングについては、ご意見も参考に、今後の管理・運営方針の中で検討します。
48	P6	マツもっと展示で市域にある博物館を紹介するのは効果的だと思うが、入口から遠く効果が薄いのではないか。全ての来館者が向かうことができ、自然と足が向く場所で、市	【趣旨同一の意見】 心地よい軒下空間に位置する「マツもっと展示」に、多くの人々を導くための方策を検討します。また、市域にある博物館の紹介は、設計案

		域にある博物館の紹介に力を入れてほしい。	にもあるとおり「導入展示」の中でも紹介し、より多くの人々に情報を発信します。
49	P6	市域にある博物館の紹介は、是非、行きたくなるような内容にしていきたい。	【趣旨同一の意見】 市域にある博物館の紹介に限らず、全てのコンテンツについて、新鮮で分かりやすい情報提供に心掛けます。
50	P6	マツもつと展示について、イメージ図を見ると、あれもこれもが並べられているように感じる。人の視線よりかなり高い位置まで見てほしいというのは無理がある。ショーウィンドウにはインパクトのある物や店舗ではない博物館としての落ち着きもほしい。	【参考とする意見】 観覧に適した展示什器の製作や展示手法など、御意見を参考にしながら、実施設計の中で検討します。
51	P6	マツもつと展示は、手に取って見ることができるのか。	【質問のみ】 展示品保護等により、手に取って見ることは想定していません。
52	P7	導入展示の松本歴史年表は、壁に表現する手法も含め、全ての人に見やすいように考えられたい。	【参考とする意見】 御意見を参考にしながら、より効果的な展示手法を実施設計の中で検討します。
53	P7	導入展示の一部が階段の途中に設置され、階段を使えない人が行けないようになってしまっている。	【参考とする意見】 階段を利用しなくても、1階又は2階から観覧できる展示構成を、実施設計の中で検討します。
54	P7	見るだけでなく触れて体感するような、体験型の博物館にしていだきたい。刀や兜、鎧などの松本にゆかりのもののレプリカをつくり、それを身に着けることができると良いのではないか。	【趣旨同一の意見】 「常設展示」や「子ども向け展示」を中心に、体感・体験を重視した展示手法に努めます。
55	P8	四賀化石館では、クジラの背骨を持って重さを感じられたり、オオツノジカやクジラの大きさが分かりやすく感じられたり、小さいが引き込む迫力がある。博物館は、説明を読んで展示物を見るだけでなく、体験・体感が必要だと考える。	同上

56	P7	松商学園高校講堂にある、今井五介翁の塑像（石膏原型）を市民運動で鋳造化し、博物館1階入口に目玉として展示してはどうか。	【参考とする意見】 個別・具体的な事項については、調査・研究を進めた上で、特別展・企画展等での公開を検討します。また、市民運動と展示を結び付ける手法は、今後の事業展開の一例として参考とします。
57	P8	常設展示にテーマが設けられ、展示内容が更新されていくことによって、来館者の興味を引き付けやすくなるのではないかな。	【趣旨同一の意見】 設計案にあるとおり、各テーマを定期的に更新し「変化し続ける常設展示」を実現します。
58	P8	3年に一度ぐらいのリニューアルや大型企画ができるように、資金の回転をし、何回も行ってみたいくなるようにしていただきたい。	同上
59	P8	常設展示の内容が、市の中心部のものに集中している印象を受ける。手を広げすぎると内容が薄くなってしまふかもしれないが、それでも松本は広いので、各方面の紹介もする必要があると思う。	【反映する意見】 合併地域を含め、より広域的な視点で松本の多様性が訴えかけられるよう、大テーマを中心に見直しを図ります。
60	P8	岳都を自称する割には山に関する展示が少ないと感じる。合併した地域にそうした資料が残っているのではないかな。	同上
61	P8	旧松本市中心の展示に偏らず、合併後の四賀・梓川・安曇・奈川・波田への視点、また、これら5地域からの視点も忘れずに盛り込んでいただきたい。地域性を一括りにしたような展示・紹介にならないよう配慮いただきたい。	同上
62	P8	松本市は山間部も多いため、テーマの中に「山」に関することを入れ、農具等を展示できると良いのではないかな。	【反映する意見】 「山」は、三ガク都を構成する一つとして重要と考えています。常設展示の新たな展示テーマとして検討します。なお、農具等の展示については、更新時の参考とします。
63	P8	松本の山、自然に関することを大テーマで取り上げていただきたい。	同上

		昔の人々の山での暮らしがより深く知れると良い。また、松本は農作物も多いので、その特徴を基に農具の展示も良いのではないかと。それに触れられるとなお良い。	
64	P8	松本市は山がたくさんあり、自然豊かなところが魅力なので、山の生活やダム建設についての資料があると良い。そばづくりに関するものなど農業系もあつたら松本らしくて良いと思う。	同上
65	P8	「松本学」の言葉は出てくるが、「三ガク都」はどこに行ったのか。山岳リゾートである市にとって「岳都」は不可欠と考える。目新しさを追うのではなく、まずは育んできたものを大切にしていきたい。	同上
66	P8	松本城に登れない人のために、また、外国の博物館を体験できるようなイベントを行うような、デジタル3D映像により疑似体験できる部屋を作っていただきたい。	<b>【参考とする意見】</b> 特別展示室や講堂で最新の映像技術を活用した展示やイベントが開催できるよう実施設計の中で検討します。
67	P8	復元展示・移築展示のような本物の展示を期待する。	<b>【参考とする意見】</b> 建築物等の移築展示は予定していませんが、本物を見ることを前提に展示環境を整えています。
68	P8	親戚や知り合い、子どもたちを連れて行きたくなるよう、アイデア・企画のサポート要員を常時そろえていただき、子どもたちが飽きない工夫をしていただきたい。	<b>【参考とする意見】</b> 子ども向け展示を充実させるとともに、市民団体等との協働により、多様なアイデアと人的資源を活用した事業を実施していけるよう、今後の管理・運営方針の中で検討します。
69	P8	プロ野球初の三冠王・中島治康氏の展示をすれば魅力的になる。	<b>【参考とする意見】</b> 個別・具体的な事項については、調査・研究を進め、今後の事業展開の中で検討します。
70	P8	景観の観点から読み取れる、松本城の物語性について検討していただきたい。	<b>【参考とする意見】</b> 常設展示の大テーマ「お城のあるまち」の内容の具体化に際し、一つの捉え方として参考とします。

71	P8	七夕人形は、私達にとっては見慣れたものではあるが、全国的に見れば特別なものである。もっと声高に広めても良いのではないか。	【参考とする意見】 七夕人形は、国重要有形民俗文化財に指定された松本を代表する民俗資料です。七夕人形を始めとする松本の特徴を多くの方に知ってもらえるよう今後の事業展開の中で検討します。
72	P8	新博物館も現在と同様に松本城を訪れる観光客が主な来館者になると思う。来館者数を十分に見込めるならば、無難でない、挑戦的な企画を期待する。	【参考とする意見】 特別展・企画展等で、新しい企画を実施できるよう今後の事業展開の中で検討します。
73	P9	常設展示に、目の不自由な方にも楽しんでもらえることができる、五感を刺激するような仕掛けがあるとより良くなるのではないか。	【趣旨同一の意見】 ユニバーサルデザインの考えの下、誰もが楽しめる博物館を実現します。常設展示では、体験を促す仕掛けや五感を刺激するような展示手法を検討します。
74	P11	「子ども向け、親子向け」は、それ以外の者は入り込めない排除ワードである。「子どもに分かりやすい」は、大人にも分かりやすい。分ける必要の無い、境の無いユニバーサルデザインの実現を期待する。	【参考とする意見】 「子ども向け展示室」は、博物館でなければできない体験（モノや人に関わり、楽しむ活動など）を通じて、多くの子どもたちに博物館を好きになってもらう場所として設置したものです。ユニバーサルデザインの考えの下、御指摘の趣旨も踏まえ、今後の管理・運営方針の中で検討します。具体的なアイテムやコンテンツについては、今後の実施設計の中で検討します。
75	P11	子ども向けの展示で得られるたくさんの発見や体験は、視覚ばかりでなく実際に物に触れ、体感できる仕組みを増やしてほしい。	同上
76	P11	子どもに多く来てもらい、子どもたちにも楽しんでもらわないとならないが、今のままでは内容が薄いのではないか。子どもは化石に興味を持ちやすいと思うので、化石に触れられる体験ができるコーナーを常設	【参考とする意見】 子ども向け展示室の充実を図るとともに、子どもワークショップ等の開催などを検討します。化石については、四賀化石館で様々な体験ができますが、連携した事業展開につい

		すべきと考える。	ても検討します。
77	P11	誰もが触って楽しめるものがあると良い。特に化石などは子どもも好きだと思うので、一部展示されていると良い。	同上
78	P11	子ども向け展示室が狭く、混雑時に収拾がつかなくなるのではないか。年齢ごとに安心・安全な什器・アイテムを用意するとはいえ、同じ空間で過ごすのだから区切るのも難しいのではないか。	【参考とする意見】 各部屋の配置を検討する中で、子ども向け展示室については、できる限りの面積を確保しました。運用方法については、利用する子どもの安全を第一に考え、今後の管理・運営方針の中で検討します。
79	P11	子ども向け展示室の活動の様子が外から垣間見れるよう、窓（スリット程度）の設置を検討していただき、外から入ってみたいくなる工夫を考えられたい。	【趣旨同一の意見】 子ども向け展示室は、子どもたちの楽しむ姿が外からも視覚的に捉えられるよう安全に配慮したガラス張りとしています。
80	P11	子ども向け展示室の隣は、管理エリアが隣接する位置なので、博物館の大事な「ウラの仕事」も見せてもらえる仕掛けがあると良い。	【参考とする意見】 博物館の機能や活動を、様々な機会を通して知ってもらうことは大切だと考えています。管理運営上、常時公開は難しいと考えますが、今後の事業展開の中で検討します。
81	P11	子ども向け展示の場は、子どもを遊ばせる場所としての役割だけでなく、博物館や美術館のマナーを学ぶ場所でもあってほしい。	【参考とする意見】 子ども向け展示室は小学校低学年以下の子どもの主対象としており、博物館でなければできない体験（モノや人に関わり、楽しむ活動など）を通じて、子どもたちに博物館を好きになってもらうことを目的としています。観覧マナーを学ぶことについては、今後の検討課題とします。
82	P12	指定管理者制度の導入は慎重にお願いしたい。指定管理者に委託料を支払うのであれば、博物館が好きだから働く、博物館のために働く気持ちの職員を自前で採用してほしい。学芸員が直接監視・受付・販売も兼務してはどうか。	【参考とする意見】 指定管理者制度は、公の施設の管理運営に民間の優れた技術力や経営ノウハウを幅広く活用し、コストの削減と住民サービスの向上を図ることを目的としています。制度の導入については、他館の導入状況や問題点等をしっかり整理し、検討します。

83	P12	<p>管理運営手法には、博物館本体も含め指定管理の運用を検討されたい。良い展示であっても休日しか利用できない状況であれば、博物館への来訪優先順位は下位になる。平日夜のナイトミュージアム、特別展示室の空き期間を利用したイベントなど、市直営では実施しにくいものも可能になる。多額の事業費をかけ実施する事業なので、平日、日中、夜間も、稼働率の高い施設にし、一度だけでなく再訪したくなる施設にしていきたい。</p>	<p><b>【趣旨同一の意見】</b> No.82をご参照ください。 指定管理者制度の導入については、来館者のニーズに沿った管理運営となるよう検討します。</p>
84	P12	<p>閉館時間が17時ならば、その時間まで見学できるようにしていただきたい。展示室整備や見回りが必要なら見学時間を16時45分まで、退館17時という形で検討していただきたい。</p>	<p><b>【参考とする意見】</b> 現状でも17時閉館の時間まで見学できますが、より快適に過ごせるよう、最終入館時間や閉館時間（退館時間）を、今後の管理・運営方針の中で検討します。</p>
85	その他	<p>博物館は自分のアイデンティティを確認する場所であり、自分自身を知り、地域をよりよく学ぶための殿堂・施設である。</p>	<p><b>【趣旨同一の意見】</b> 設計案に記載のとおり「松本のひとはぐくみ」「松本学をふかめる」展示を展開します。</p>
86	その他	<p>来館者の知的好奇心を刺激し、驚きや感動を得られる展示、調査研究やその成果の展示・市民参加の事業を通し、地域の課題解決の一助となるような、博物館自体が「人材づくり」「まちづくり」の事業になると良い。</p>	<p><b>【趣旨同一の意見】</b> 平成29年3月策定の「松本市基幹博物館施設構想」において、「ひとづくり」「まちづくり」を基幹博物館整備の目的として掲げていますので、これらの目的に基づいて設計を進めています。</p>
87	その他	<p>保存・研究・学習を柱とする基幹博物館施設を、商業を主目的とする場に誘致することがミスマッチであり、相互に不利益を生じさせる。基本設計は完璧を期すとしても、設置場所については再検討課題に戻していただきたい。</p>	<p><b>【対応が困難な意見】</b> 建設地については、庁内各部局横断で専門組織を立ち上げて何度も検討を行い、市議会での協議や地元説明会の開催など、検討を重ねて、松本市営松本城大手門駐車場敷地に決定したものです。多くの人が行き交うこの場所に文教施設となる基幹博物館を整備することは、市民や観光客が松本城下町を学び体験する上で</p>

			有益であるとともに、地域の活性化に寄与するものと考えています。
88	その他	建設以前の問題として、何も手が入っていない今のうちに、そもそも建設場所の選定を振り出しから考え直す必要がある。	同上
89	その他	建設場所は、お城と博物館が並立するよう、立替予定の現市庁舎跡が良い。	同上
90	その他	たとえば新市庁舎との共存など、博物館単体での機能でなく、複数機能を持った建物にしてスケールを大きくしてはどうか。	【対応が困難な意見】 松本市営松本城大手門駐車場敷地に博物館単体で整備するため設計を進めていますので、市役所新庁舎との複合は予定していません。
91	その他	200～300年生き残る歴史的遺産になるような建物にしていきたい。	【参考とする意見】 末永く人々に親しんでもらえる建物となるよう整備を進めます。
92	その他	ブランド化された博物館にしてほしい。「もう1回来たい」、「旅費を出してでも遠くから来たい」、「来館したことを他人に言いたくなる」ような、松本の目玉スポットにしていきたい。	【参考とする意見】 博物館としての機能を果たしながら、「松本らしさ」をブランドイメージとして具体化していきます。市内外から多くの人に来館してもらえる博物館となるよう整備を進めます。
93	その他	観光バスの訪問の目玉になるようなレベルの博物館にしていきたい。	同上
94	その他	具体的なイメージとして、石川県金沢市にある「金沢近代美術館」のような、「松本市発信の超一流」なものにしてほしい。	同上
95	その他	「まるごと博物館」構想の具現化の一つとして、新博物館を起点とする松本観光スポットを巡回するルートを設定してはどうか。同時に、それらをめぐる交通の確保もされたい。	【参考とする意見】 導入展示において、基幹博物館を起点に、文化施設や観光スポットをめぐる回遊ルートの案内を考えています。また、交通の確保については、公共交通や自転車(すいすいタウン、シェアサイクル等)を利用したアクセス方法を併せて案内します。
96	その他	山と自然博物館の1階展示の興味を引き寄せる仕掛けなども振り返	【参考とする意見】 他館の展示手法も参考にしながら



		り、工夫・改善しながら、松本城と共に基幹博物館が子どもから大人まで広く愛され発展していく館であることを願う。	ら、幅広い年代の方々に親しまれるような展示手法について検討し、実践していきます。
97	その他	博物館、外堀及び内環状北線、大名町通りの高質化は、お城を中心とした市街中心部の再開発として、総合的ビジョンの下に行われるべきと考える。それぞれの計画をすり合わせることも無く、街路デザイン等の一体感ある開発が可能なのか。統括部署を設置し、総合的な開発を企画するとともに、窓口を一本化し住民への対応の明確化、責任の一本化を希望する。	<p>【その他】</p> <p>基幹博物館整備を始めとする各整備は、平成27年3月策定の「松本城三の丸地区整備基本方針」に則り行っています。また、街路デザイン等の景観についても、整備ごとに市景観審議会に協議するとともに、「お城周辺地区の街並みガイドライン」に沿って進めているところです。地区全体の整備方針は市建設部が統括していますが、各整備に関する窓口は、迅速な対応を行うこと、責任の所在を明確化することから、それぞれ所管課で対応していますので御理解ください。</p>